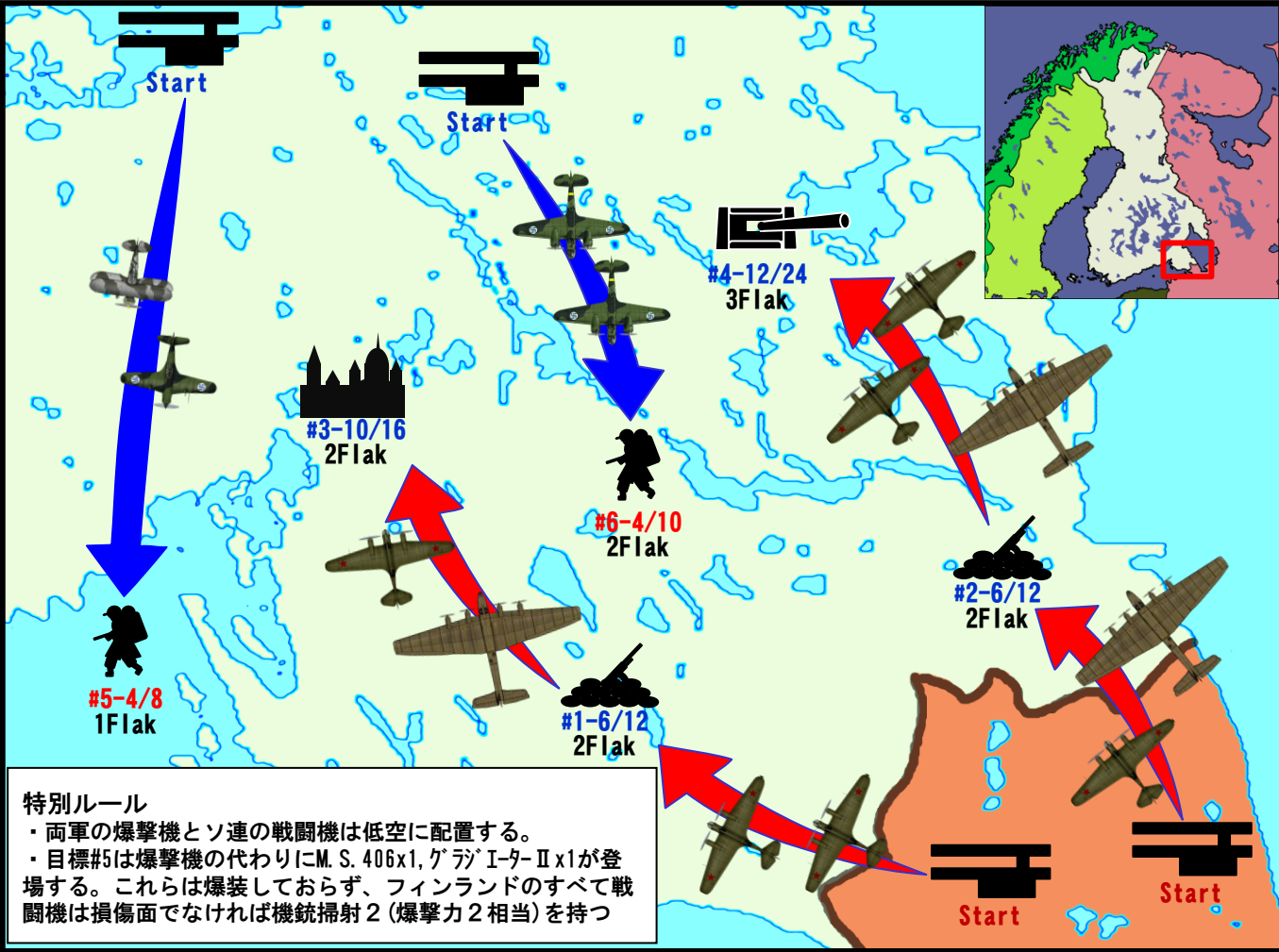


# 冬戦争 フィンランド1940 (全4任務/各任務4ターン)

領土割譲を拒否したフィンランドに対し、ソ連は一方的に宣戦を布告した。世界が注目する中、フィンランド軍は善戦しソ連軍に多大な損害を与え続けた。しかし開戦から三ヶ月が経過し、その国力は限界に達しようとしていた。



**勝敗**  
 ソ連軍VPーフィンランド軍VP  
 81以上 .....ソ連軍圧倒的勝利  
 56~80 .....ソ連軍大勝利  
 31~55 .....ソ連軍辛勝  
 6~30 .....史実の結果  
 -19~5 .....フィンランド軍辛勝  
 -44~-20.....フィンランド軍大勝利  
 -45以下.....フィンランド軍圧倒的勝利

**オプション**  
**フィンランド軍**  
**迎撃機**：グラーゼーター II x1  
 1：フォッカーD21x1 (ルッカネン), グラーゼーター II x1  
 2：フォッカーD21x2 (サルヴェント)  
 3：フォッカーD21x1 (トゥオミネ), I-153x1  
 4：M. S. 406x1, グラーゼーター II x1  
 太陽を背に；味方戦闘機すべてに開始時カード+2枚  
 5：フォッカーD21x1, M. S. 406x1, 高射砲：+/-1

**ソ連軍(主導権)**  
**迎撃機**：I-15x1  
 1：I-16-5x2  
 2：I-153x2, I-15x1  
 3：I-16-5x1, I-153x1,  
**強風**：任務ターン+1/-1  
 4：I-16-5x1, I-153x1, I-15x1  
 5：I-153x1, I-15x1, 高射砲：+/-1

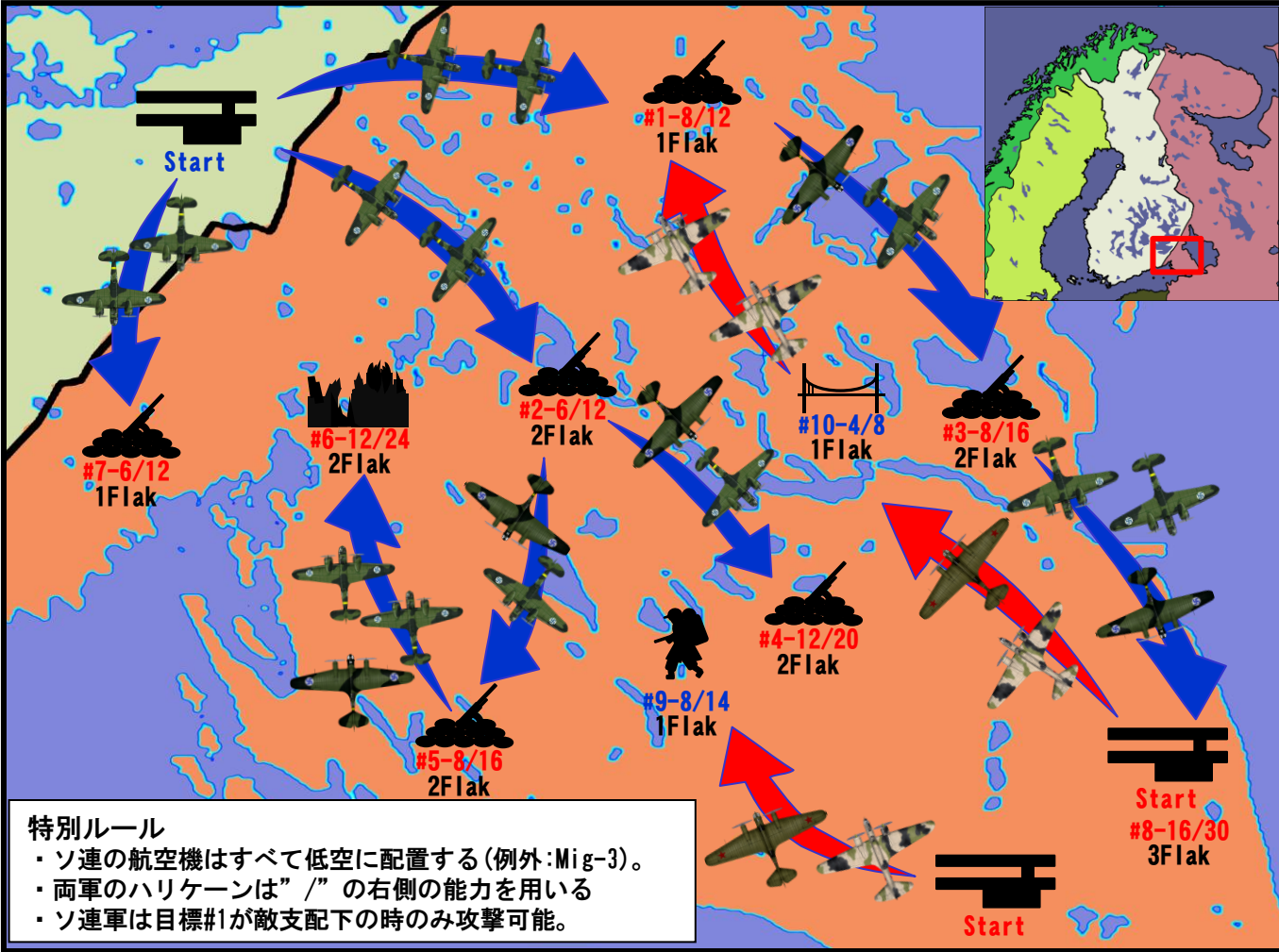
**特別ルール**  
 ・両軍の爆撃機とソ連の戦闘機は低空に配置する。  
 ・目標#5は爆撃機の代わりにM. S. 406x1, グラーゼーター II x1が登場する。これらは爆装しておらず、フィンランドのすべて戦闘機は損傷面でなければ機銃掃射2 (爆撃力2相当)を持つ



**全シナリオ共通ルール**  
 ・地図上の青文字の拠点はフィンランド軍、赤文字はソ連軍が支配している。攻撃可能な目標がないときは敵に主導権が移る。

# 継続戦争(1) フィンランド1941 (全5任務／各任務5ターン)

ドイツの奇襲攻撃に混乱するソ連はドイツ空軍機の駐留するフィンランドの飛行場を爆撃した。フィンランドは冬戦争で奪われた領土回復のチャンスとしてソ連に宣戦布告、カレリア地方奪還のため侵攻を開始した。防戦一方のソ連に対し、攻略は順調と思えたが...



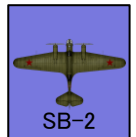
**特別ルール**

- ソ連の航空機はすべて低空に配置する(例外:Mig-3)。
- 両軍のハリケーンは"/"の右側の能力を用いる
- ソ連軍は目標#1が敵支配下の時のみ攻撃可能。

**勝敗**  
 ソ連軍VPーフィンランド軍VP  
 1以上.....ソ連軍圧倒的勝利  
 -29 ~ 0.....ソ連軍大勝利  
 -59 ~ -30.....ソ連軍辛勝  
 -89 ~ -60.....史実の結果  
 -119 ~ -90.....フィンランド軍辛勝  
 -149 ~ -120.....フィンランド軍大勝利  
 -150以下 .....フィンランド軍圧倒的勝利

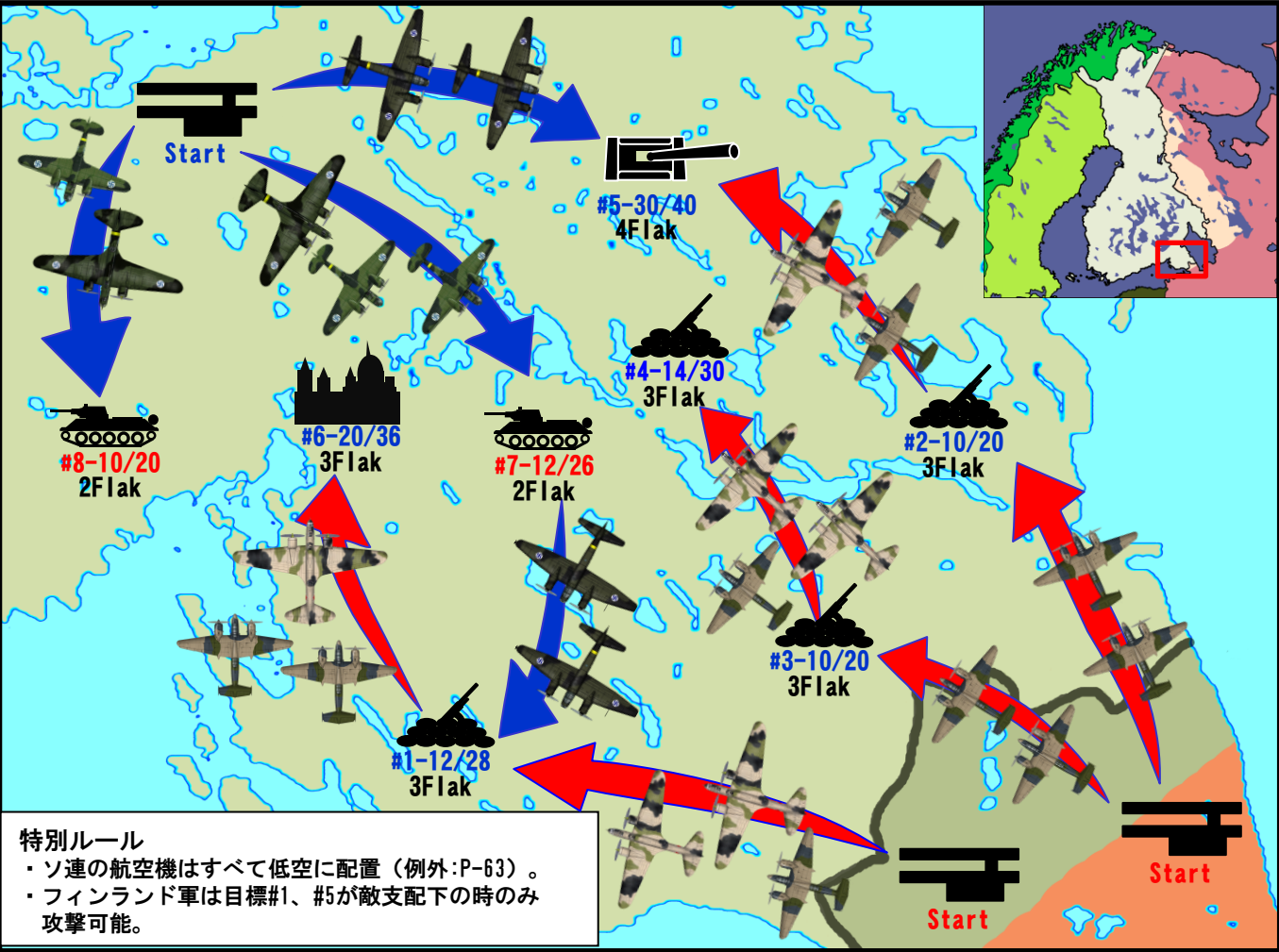
**オプション**  
 フィンランド軍(主導権)  
 迎撃機: フォッカーD21x1  
 1: B-239x2、フォッカーD21x1  
 物資不足; 敵戦闘機に各1ダメージ  
 2: B-239x1(ウイト), カーチス75Ax1  
 3: ファイアットG. 50x1(トゥオミネ), カーチス75Ax1  
 4: B-239x1(カヤイネ), ファイアットG. 50x1  
 5: M. S. 406x1(レトヴァーア), ハリケーンMk. Ix1  
 6: B-239x1(ユティライネ), M. S. 406x1

**ソ連軍**  
 迎撃機: I-153x1  
 1: ハリケーンMk. II Bx2, 強風: 任務ターン+/-1  
 2: I-16-5x2, Lagg-3x1  
 3: I-16-5x1, Mig-3x1, I-153x1  
 4: Lagg-3x1, ハリケーンMk. II Bx1  
 5: Lagg-3x2  
 6: Mig-3x2, 高射砲: +/-1



# 継続戦争(2) フィンランド1944 (全5任務／各任務5ターン)

戦局は逆転した。スターリングラードでの大敗以後ドイツ軍は各地で撤退を重ね、ここフィンランドでもソ連の大攻勢が始まった。過酷な和平交渉と苦渋に満ちた撤退戦を支えたのは、一握りの優秀なパイロット達とドイツから供与された主力戦闘機であった。



**勝敗**

ソ連軍VPーフィンランド軍VP

- 186以上……ソ連軍圧倒的勝利
- 136~185……ソ連軍大勝利
- 86~135……ソ連軍辛勝
- 36~ 85……史実の結果
- 14~ 35……フィンランド軍辛勝
- 64~-15……フィンランド軍大勝利
- 65以下……フィンランド軍圧倒的勝利

**オプション**

**フィンランド軍**

迎撃機： B-239x1

- 1： Bf-109G6x2 高射砲： +/-1
- 2： Bf-109G6x2 (カヤイネ)
- 3： Bf-109G6x1 (ニツネ), B-239x1  
雲海：敵/味方の爆撃機高度+/-1
- 4： Bf-109G6x1 (ユティライネ), B-239x1  
遅延：第1ターン敵戦闘機不在
- 5： Bf-109G6x1 (ウイト), メルケ・モランx1
- 6： Bf-109G6x1 (ルツカネ), メルケ・モランx1

**ソ連軍 (主導権)**

迎撃機： Lagg-3x1

- 1： La-7x1, La-5x2
- 2： P-39Qx2, Lagg-3x1, 強風：ターン+/-1
- 3： Yak-3x1, P-39Qx2, 機銃防御： +/-1
- 4： La-7x2, Lagg-3x1
- 5： P-39Qx2, P-63x1
- 6： Yak-3x1, La-5x2

